

製品名: CD10 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81968**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	85.5kDa

抗原情報

遺伝子名	CD10
別名	NEP; SFE; MME; CALLA; CMT2T; SCA43
遺伝子 ID	4311.0
SwissProt ID	P08473
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD10 (AA: 追加 549-750) の精製された組み換え断片。

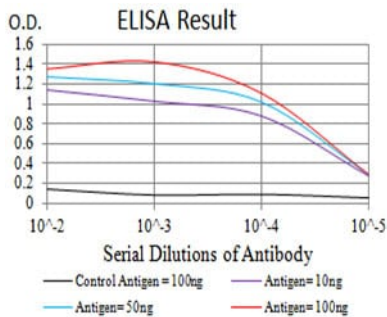
背景

この遺伝子は、ヒト急性リンパ性白血病（ALL）の診断において重要な細胞表面マーカーである、共通の急性リンパ性白血病抗原をコードしています。このタンパク質は、ALL 症例の 85% を占めるプレ B 表現型の白血病細胞に存在します。しかし、このタンパク質

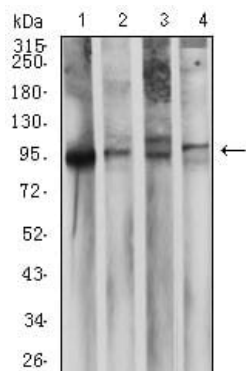
は白血病細胞に限定されず、様々な正常組織にも存在します。特に腎臓に多く含まれる糖タンパク質で、近位尿細管の刷子縁と糸球体上皮に存在します。このタンパク質は中性エンドペプチダーゼであり、疎水性残基のアミノ側でペプチドを切断し、グルカゴン、エンケファリン、サブスタンス P、ニューロテンシン、オキシトシン、ブラジキニンなどのペプチドホルモンを不活性化します。この遺伝子は 100kD の II 型膜貫通糖タンパク質をコードし、45kb を超える単一コピーとして存在する。この遺伝子の 5'非翻訳領域は選択的スプライシングを受け、4つの独立した mRNA 転写産物が生じる。コード領域は選択的スプライシングの影響を受けない。

研究分野

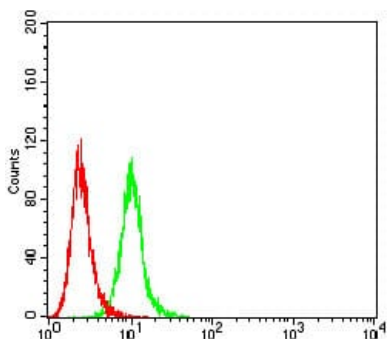
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



LNCap (1)、Ramos (2)、Raji (3)、および NTERA-2 (4) 細胞溶解物に対する CD10 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



CD10 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。